

■進級及び卒業の要件等

【成績評価】

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

授業科目の成績評価は、科目の修了時において各科目試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。

〈成績評価基準〉

各教科とも総合的な評価により、A、B、C、Dの評価を行う。単位認定はC以上とする。

1. 評価は科目試験、出席率、授業態度、検定取得状況、課題・レポート状況などにより総合的に評価する。
2. 評価はA、B、C、Dの4段階とする。
3. 評価基準は次の基準に従って評価し、A～Cの評価のものについてのみ、その科目の修得認定を行う。

評価	基準
A	80点以上 (優) 科目に対する理解及び日常の授業態度が特に優秀である
B	60点以上 (良) 科目に対する理解及び日常の授業態度が良好である
C	40点以上 (可) 科目に対する理解及び日常の授業態度が普通である
D	40点未満 (不可) 科目に対する理解及び日常の授業態度が劣る

4. 実習等の授業科目(点数が明確につかないもの)においては、レポート提出状況、実習態度、出席率、成果(達成目標)を総合的に判断し評価する。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

■成績評価とGPAポイント

成績評価	内容	GPAポイント
A	認定	3.0
B		2.0
C		1.0
D	単位不認定	0

※成績評価は原則として科目ごと、その終了時に評価する。ただし、再試験等により評価しなおすことがある。また、同一名称であっても、末尾に1・2または、A・B等の記号の付されているものは、それぞれ別の科目として取り扱う。

■GPAの算出方法

個々の授業科目についての成績評価に、それぞれにGPAポイントを設定し「各科目の単位数×GPAポイント」の和を「履修単位数合計」で除して算出したものがGPAになる。

※各成績評価に対応するGPAポイントは上表を参照する。

〈GPA算式〉

$$GPA = \frac{(3 \times A \text{ 評価単位数} + 2 \times B \text{ 評価単位数} + 1 \times C \text{ 評価単位数})}{\text{履修単位数合計 (D評価で不認定になった単位数も含む)}}$$

学科、コースにより受講科目数や授業時間数、実習授業の割合が異なっている場合でも、測定する指標とします。

【進級及び卒業基準】

進級及び卒業するために必要な条件として、各学科の履修年次ごとに、出席時限数字、科目単
位、検定単位等について最小所要数の基準が定められている。この基準を満たさないと進級及
び卒業することが出来ない。

〈進級基準〉

進級は進級認定会議を経て学校長が認定する。なおかつ、以下の基準を満たすものとする。

	出席時限数	科目単位	検定単位	学費
1年次	400	30単位	1単位	納入済み
2年次	850	62単位	4単位	納入済み
3年次	1200	96単位	2単位	納入済み

※3・4年課程の1年次、2年次の進級基準に検定単位の所要数はなし。

(注1) 進級基準が満たされない場合、基準を満たすまで条件付き進級(仮進級)の扱いとなる。

なお、取得単位数が基準より著しく少ない場合、当該年次に留年となる。

(注2) 各検定の指定単位数(検定単位数)については学生便覧を参照。

〈卒業基準〉

卒業は卒業認定会議を経て学校長が認定する。なおかつ、以下の基準を満たすものとする。

	出席時限数	科目単位	検定単位	学費
1年課程	400	30単位	2単位	納入済み
2年課程	850	62単位	4単位	納入済み
3年課程	1200	96単位	4単位	納入済み
4年課程	1600	124単位	4単位	納入済み

(注3) 卒業基準が満たされない場合、基準を満たすまで卒業延期の扱いとなる。なお、取得単
位数が基準より著しく少ない場合、当該年次に留年となる。

【専門士の称号付与】

卒業基準に基づき、本校の課程を修了したことを認定するとともに、修業年限2年以上の学科に
ついては専門士の称号を授与する。

工業専門課程の経営情報科・情報システム科を終了した者には専門士(工業専門課程)の称号
を授与、また、商業実務専門課程の総合ビジネス科・医療福祉ビジネス科・ペットビジネス科
(2年制)を終了した者には、専門士(商業実務専門課程)の称号を授与する。